

特定非営利活動法人日本放射線腫瘍学研究機構 (NPO-JROSG)

2011年度 第1回理事会議事録

1. 開催日時：2011年7月30日(土) 10:00~12:00
2. 開催場所：東京女子医科大学病院外来センター中会議室(5階)
3. 出席者(委任状) 理事13名 監事1名  
理事：三橋 紀夫理事長、西村 恭昌副理事長、早川 和重副理事長、秋元 哲夫、  
小口 正彦、加賀美 芳和、古平 毅、鹿間 直人、戸板 孝文、永田 靖、  
中野 隆史、根本 建二、前林 勝也  
監事：田中 良明
4. 欠席者 監事1名 池田 恢 ※敬称略 五十音順
5. 審議事項
  - (1) 第一号議案 議長ならびに議事録署名人の選任
  - (2) 第二号議案 庶務報告
  - (3) 第三号議案 会費の納入状況(会費未納者の取扱について)
  - (4) 第四号議案 施設会員の見直し
  - (5) 第五号議案 現在進行中の臨床試験(07-1)の中止について
  - (6) 第六号議案 2010年度事業報告
  - (7) 第七号議案 2010年度会計報告ならびに監査報告
  - (8) 第八号議案 2011年度予算案
  - (9) 第九号議案 2011年度事業計画案
  - (10) 第十号議案 JASTRO・JROSG共同監修 放射線腫瘍学教科書進捗報告
  - (11) 各種委員会報告
  - (12) 理事ならびに監事の改選
  - (13) 「放射線と生きる」を主題にした種々の広報活動への協力について
  - (14) 休会制度について
  - (15) その他
6. 議事の経過の概要及び議決の結果
  - (1) 第一号議案 議長ならびに議事録署名人の選任  
議長に三橋理事長、議事録署名人に前林理事、中野理事を選任した。
  - (2) 第二号議案 庶務報告
    - ・正会員239名、賛助会員17社、2010年度個人会員入会者12名、賛助会員1社(シー・エム・エスジャパン株式会社)、逝去会員1名と報告され承認された。
    - ・参加施設数は79施設で2010年度より6施設増と報告され承認された。  
(佐久総合病院、神奈川県立がんセンター、広島大学病院、高崎総合医療センター、国立がん研究センター東病院、筑波大学)
    - ・バナー広告は6社で前年度と比べて増減なしと報告され承認された。

(3) 第三号議案 会費の納入状況（会費未納者の取扱について）

4年間未納者が4名（うち住所不明2名）、3年間未納者が4名、2年間未納者が7名、1年間未納者が8名と報告された。定款第9条（3）に基づき3年以上未納の8名を退会扱いとすることが承認された。

2年間未納の白井克幸先生については、休会中であるため未納者リストから除くことが承認された。

(4) 第四号議案 施設会員の見直し

現在79施設の参加施設があり、そのうち4施設（福岡大学、東海大学、土岐市立総合病院、北見赤十字病院）の連絡担当者が非会員であることが報告された。土岐市立総合病院については、施設会員の退会にて承認された。残り3施設は三橋理事長より直接入会の案内をすることとなった。

(5) 第五号議案 現在進行中の臨床試験（07-1）の中止について

「プロトコール承認され症例集積中」の07-1は患者登録が悪いため中止が検討されたが、肺・縦隔腫瘍委員会で検討して中止または継続を決定することで承認された。（9月の肺癌学会までに患者登録ができなければ中止することが報告された。）

(6) 第六号議案 2010年度事業報告

- ・研究事業について、05-2、07-1、10-1の臨床試験の実施と援助が報告された。
- ・プロトコール審査について、10-2、10-3、10-4、11-1が報告された。
- ・ホームページ改定と更新の実施
- ・放射線腫瘍学教科書の出版準備
- ・海外出張支援事業（2回実施、2名に出張支援実施。）
- ・理事会、各委員会開催
- ・理事・監事の改選

(7) 第七号議案 2010年度会計報告ならびに監査報告

収支決算について説明があり、田中監事より監査報告が行われ承認された。

(8) 第八号議案 2011年度予算案

予算案について説明があり承認された。

(9) 第九号議案 2011年度事業計画案

- ・臨床試験の立案、実施ならびに援助
- ・ホームページの更新ならびに広報に関する項目の充実
- ・会員のために、放射線療法の最新知識について資料公開（ホームページ）
- ・がん診療連携拠点病院：放射線腫瘍医の講習会の共催
- ・会員のために放射線療法の臨床試験の手引き作成
- ・一般の方々のために、放射線療法に関する講演会資料の公開（ホームページ）

- ・海外出張支援事業（春、秋の年2回）
- ・放射線腫瘍学教科書の出版（JASTRO と共同編集）
- ・理事会ならびに各委員会の開催

上記事業計画は承認された。

- (10) 第十号議案 JASTRO・JROSG 共同監修 放射線腫瘍学教科書進捗報告  
 来年春頃、南江堂より「臨床放射線腫瘍学」が出版予定と報告された。  
 現在、執筆依頼を進めていることが報告された。

(11) 各種委員会報告

**【運営委員会】**

- ・ホームページ更新、海外出張支援事業、教科書作成、理事・監事の改選を行なったことが報告された。
- ・JROSG 会員増加を図ることが重要であり、そのためにも施設会員登録を進めていくべきとの意見があった。広報活動不十分なので、各委員会がホームページでの委員会活動報告などを頻繁に行なうべきとの意見があった。

**【教育・広報委員会】**

- ・ホームページに、2010 年度東京都がん診療拠点病院放射線腫瘍の講習会（ASTRO/ESTRO 参加報告資料（要約））を掲載した。
- ・和田仁委員が委員会を辞退したことが報告され承認された。
- ・高橋建夫先生を委員に加えることが承認された。

**【臨床試験審査委員会】**

現在のプロトコル審査状況が下記の通り報告された。

- ・05-2、10-1 は試験を開始して症例集積中
- ・10-2、10-3、10-4、11-1 はフルプロトコル作成中
- ・10-5 はドラフト再提出待ち

**【効果・安全性評価委員会】**

- ・審議事項なく開催していないことが報告された。

**【施設選定委員会】**

下記2施設より施設申込があったことが報告され承認された。  
 施設 No.078 国立がん研究センター東病院（秋元 哲夫）  
 施設 No.079 筑波大学（石川 仁）

**【脳・神経系腫瘍委員会活動報告】**

- ・7月13日時点の集積症例数が報告された。
- ・今後、最も症例数の多い国立がんセンター角先生にデータまとめを依頼、ASTROへの応募、論文化を予定していると報告された。
- ・委員長を芝本 雄太委員から青山 英史委員へ交代することが報告され承認された。
- ・予後不良因子を有する膠芽腫症例に対する短期照射のプロトコールについて、臨床試験審査委員会の審査を参考に、グループ内で **endpoint** や症例数などを再検討し、再度ドラフトを提出する予定であることが報告された。

#### 【泌尿器腫瘍委員会】

- ・「JROSG；前立腺癌術後 PSA 再燃（再発）に対する救済放射線治療及びアジュバンド術後放射線治療に関する調査研究」について、参加施設へ現状と予後を含む調査研究を行なうことが報告された。
- ・「膀胱癌に対する放射線照射後の予後に関する調査研究」について、参加施設へ現状と予後を含む調査研究を行ない、既に18施設から回答を得ていることが報告された。

#### 【肺・縦隔腫瘍委員会】

- ・現在進行中及び作成中のプロトコール経過報告がされた。
  - 1) JROSG07-1
  - 2) 10-1
  - 3) JMTO PC-030
- ・次回の会議は肺癌学会（大阪）にて開催予定と報告された。

#### 【頭頸部腫瘍委員会】

- ・原発不明癌のアンケート調査を行い、34例の症例数協力があり、更に協力を依頼して症例数を増加する予定と報告された。

#### 【乳腺腫瘍委員】

- ・05-5について症例登録を終了し、経過の追跡調査中であることが報告された。
- ・乳房インプラント挿入例に対する放射線療法の安全性に関する前向き臨床試験を検討中で、プロトコールコンセプト提出を目指すことが報告された。

#### 【悪性リンパ腫・血液腫瘍委員会】

- ・脾腫に対する適切な放射線療法に関するアンケート調査を行なったと報告された。

#### 【消化器腫瘍委員会】

- ・根本先生のプロトコールの症例登録を開始した。
  - 肛門癌に対するプロトコールを作成中。
- ・膵臓癌、食道癌のアンケート調査研究を基にいくつか論文が完成し掲載予定である。

#### 【婦人科腫瘍委員会】

- ・I,II 期子宮頸癌に対する高線量率腔内照射を用いた根治的放射線治療に関する多施設共同前向き臨床試験：JAROG0401/JROSG04-2 が Int J Radiat Oncol Biol Phys 誌に投稿され受理された。
- ・子宮頸癌放射線治療に伴う insufficiency fracture (不全骨折) の検討 (JAROG0401/JROSG04-2 付随研究)  
2010 年の第 52 回 ASTRO Annual Meeting にて発表された。論文投稿準備中である。
- ・子宮頸癌の放射線治療予後予測因子としてのバイオマーカー (ApoC-II) の再現性評価に関する多施設共同前向き試験：JROSG10-4  
プロトコールコンセプトが承認され、フルプロトコールを作成中である
- ・子宮頸癌治療後の QOL に関する全国調査：放射線療法群と手術群との比較実施に向けて準備中である。
- ・子宮頸癌の根治的放射線治療後の不全骨折に対する経口ビスフォスフォネート製剤の予防効果に関する前向き臨床試験実施に向けて準備中である。
- ・I,II 期子宮頸癌根治的放射線治療成績：全国集計  
文部科学省山田班との合同でデータ収集をすすめた。  
今年度 JASTRO 総会にて結果報告の予定である。
- ・委員長を中野 隆史委員から戸板 孝文委員へ交代することが報告され承認された。

#### 【緩和医療委員会】

- ・11-1 のドラフトが承認されたことが報告された。
- ・「転移性骨腫瘍に起因する神経障害性疼痛に対する 30 Gy/10 回照射法の有効性の検討」についてドラフト検討中であると報告された。

#### (12) 理事ならびに監事の改選

- ・13 名から理事立候補があり承認された。

鹿間 直人 埼玉医科大学国際医療センター放射線腫瘍科  
古平 毅 愛知がんセンター中央病院放射線治療部  
三橋 紀夫 東京女子医科大学放射線腫瘍学講座  
西村 恭昌 近畿大学医学部放射線腫瘍学部門  
永田 靖 広島大学大学院医歯薬学総合研究科  
戸板 孝文 琉球大学大学院医学研究科放射線診断治療学講座  
播磨 洋子 関西医科大学附属滝井病院放射線科  
高橋 健夫 埼玉医科大学総合医療センター放射線腫瘍科  
前林 勝也 東京女子医科大学医学部放射線腫瘍学教室  
秋元 哲夫 国立がん研究センター東病院  
加賀美 芳和 昭和大学医学部放射線医学  
小口 正彦 公益財団法人がん研究会有明病院放射線治療科  
早川 和重 北里大学医学部放射線科学

※申請順、敬称略

- ・ 監事は立候補者がなく、池田 恢先生、山下 孝先生より監事就任の内諾を得ていることが報告され、承認された。

(13) 「放射線と生きる」を主題にした種々の広報活動への協力について  
三橋理事長より、「放射線と生きる」広報戦略案について、コンセプト、パブリシティ、ネット配信プログラム、シンポジウム・講演会、テレビ番組、有料広告、ポスター・ちらし、「ミスター放射能」、想定・タイムスケジュールが報告された。

(14) 休会制度について

- ・ 休会制度について審議され、正式に JROSG として認めることとなった。  
休会希望者は事務局へ書類の提出を義務付けることとした。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2011年 8月 30日

議長

三橋 紀夫



議事録署名人

中野 隆史



議事録署名人

前林 勝也

